

# 舵輪

## 四月のイベント等

### 「ボランテア再訓練」について

再訓練を 四月七日、八日に行いました。四月七日は、十六名と新規訓練者四名参加しました。この日、新規訓練者は現役ボランテアの訓練を受けている姿を見て感心していました。

八日は五十三名のボランテアが参加しました。多人数の訓練だったので、船内の見学者は、興味深げに訓練を見入っていました。ボランテアのPR効果は大きかったと思います。

初心に戻って行った訓練での、注意事項、基本動作を忘れないで下さい。海王丸ボランテアの活躍に期待します。

### 「登しよう礼訓練」について

四月八日ボランテア再訓練の後、第二回目の登しよう訓練を行いました。シユラウド配置ですが、五十六名の配員で行います。二回訓練を行いました。第一回は決まった礼となりました。後一回の練習日があります。登録者はできるだけ多く参加し、当日の登しよう礼を成功させましょう。そして海王丸を大いにアピールしましょう。

### 「平成十三年春ボランテアの集い」について

四月十五日、ボランテアの集いがホテルニューオータニ高岡で行われました。ボランテア参加者は六十九名で、集いは盛大に行われました。各代表の挨拶をはじめ、海王丸クイズ大会などが行われました。クイズ大会は大いに盛り上がりました。海王丸の要目について、勉強になりました。今後企画している、ボランテアによる船内案内に向けて、知識を身につけましょう。

平成十三年度も総帆展帆等ボランテア活動に精を出して頑張ります。

### 「第一・二回総帆展帆」について

爽やかな青空の下、今年第一回の総帆展帆が行われました。霞んで見える立山をバックに二十九枚の帆を開いた姿は誠に美しかったです。

五月五日、第二回目の総帆展帆は「ちびつ子天国・イン海王丸」でパーク内が混雑する中で行われました。多くの見学者の前で行われたボランテアの動きはとても良かったです。今後、総帆展帆百回目、海の記念日などイベントを含めた総帆展帆が行われます。

### 「海王丸見学者百万人突破」

五月十三日午後一時十分、海王丸の乗船見学者数が百万人を突破しました。これを記念して記念式典が行われました。これ百万人の方には認定書と記念品、前後賞の方々は記念品が贈られました。

### 「第二回目 船上結婚式」

海王丸ボランテアの吉田邦彰さんと大木愛子さんが海王丸船上で結婚式を行いました。二人が初めてデートした場所が海王丸であったことから、結婚式場に選んだそうです。船長の前で「思いやり、助け合って人生の大海原を乗り越えていきたい。」と誓いの言葉を述べ、指輪を交換しました。船長から「嵐や風の強い日でも心一つに平穏な旅をされることを祈ります。」と祝辞を述べました。お二人の晴れの船出を祈ります。

### 「退任・着任の挨拶」

四月に人事異動がありました。前号で紹介していない方々の挨拶です。

#### 馬淵前常務理事退任の挨拶

五月に入り、新緑がまばゆい季節になってきました。早いもので、帆船海王丸記念財団を退任して、一ヶ月余りが過ぎました。

例えば、平成十年十月に財団に着任して以来、二年間にわたりボランテアの皆様のご支援を頂きながら、とても楽しく、有意義に仕事を勤めさせて頂きました。財団での勤務や、海・港・船をフィールドにしている仕事は、公務員生活の中で初めてのことでした。しかし、固定概念にとらわれず、フレッシュな感覚で、

柔軟な発想で仕事に取り組みことができたと思っています。

初めて総帆展帆を上甲板から見た時、ボランテアの皆さんの迫力に圧倒されました。後に私自身も展帆活動に加わり肌でその素晴らしさを感じました。二十九枚の白帆を広げる技は、多くの人達に夢とロマン、そして勇気を奮い立たせたいと思います。また活動に参加して、いろいろな立場で、海に思いを馳せて活躍しているボランテアにふれ合うことができました。皆様の交流を通して、ボランテアの底力と素晴らしさを実感しました。

また施設案内や業務などを通して、数多くの方々と心に残る交流を行うことができました。新しい事業の取組みにあたっては財団の方々をはじめ、実に多くの方々からの力強いお言葉やご支援を頂きました。このような交流の中で、太古より優れた文化を生み出し、運んできた海への関心を持つ大切さを教わりました。二年六ヶ月は短い期間でしたが、数多くの思い出ができました。心からお礼申し上げます。

海王丸パークを見渡すと、泉新湊公共マリナーが本年4月オープンし、近くパークに隣接する客船ターミナルの一部も供用可能となり、これらの施設の活用を視野に入れて、一層魅力ある事業展開ができる環境が整ってきました。

二十一世紀は「物」から「心」の豊かさを求める時代、自然との共生をはかる時代、国際化の進展などの変革が国境を越えて押し寄せて来る時代です。これからも、時代のニーズにこたえて、地域や関係機関と共に多くの人達に海を思いやる機会を発信できる魅力ある事業を展開していかれますことを心から願っています。

現在、勤務先は商工労働部ですので、近くへお越しの際は、気軽に県庁の馬淵サロンへお立ち寄り下さい。最後にこれまで頂いた数々のご支援と、ご厚情に対して、精一杯の感謝の気持ちを込めまして、退任のご挨拶と致します。

#### 中尾新常務理事着任の挨拶

「自然豊かな職場に就いて」  
県職員として、財団関係の仕事も二度もするのは、私だけであると確信している。最初は平成元年七月に「利賀合掌文化財団」の設立と共に事務局長となり、高岡市から利賀村へ片道約五十kmを冬期間も毎日通勤したことを思い出す。  
利賀フェスティバルの期間になると世界各国から劇団がやってきて、英語の話せない私としては、その対応に苦慮した思い出が懐かしい。  
鈴木忠志理事長をはじめ、人間性豊かな文化人との交流は、非常に楽しく、あつという間に時が経過していったように思っている。  
いわなの塩焼きを食べ、酔いつぶれるまでの利賀宴会やそば祭り、一週間がかりで石像を造ったこと、三メートルを超える大雪の時に、除雪機を屋根上にあげ除雪したことが思い出される。  
その後は、本来の行政マンとして退屈な(?)職務に精励していたのであるが、今回の異動で、この自然豊かな職場に配転されたことは、非常に嬉しい限りである。  
今日は、物の豊かさから心の豊かさを求める時代へと変化し、特に最近はい「いやし」が感じられる施設として、大変貴重なものとなってきております。  
また、海王バードパークや海竜マリナーパークの整備により、一層親しみやすいパークとなつてきております。  
人が何に對して「いやし」の満足度を感じるかであるが、単に自然環境や施設設備そのものではなく、それをどのように活用し、利用するかのソフト面の充実が大切になってきます。  
このようなことから、海王丸の皆さんのボランテア活動が、一段と重要となつてきていると思っております。これからも皆さんのご協力を得て、一層多くの人達に来ていただき、満足して頂けることを願っております。

#### 川瀬技術員挨拶

4月1日から着任しました川瀬弘志です。富山の生活は初めてです。いろいろ戸惑ったりすることがありますが、皆様

# 舵輪

と共に海王丸でいろいろな体験をしてみたいと思っております。前任者同様宜しくお願いします。

鎌田技術員挨拶

この度、四月一日から（財）帆船海王丸記念財団でお世話になります。鎌田広志です。初めての陸上勤務で一人暮らしなので、戸惑っているところです。この富山での生活を楽しまつ、仕事を頑張っていきたいと思っております。皆様方に多々ご迷惑をおかけするかと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

## 平成十三年度行事予定

平成十三年度の行事予定は左の通りです。予定変更、中止の場合は、事前に「舵輪」等で連絡します。一年の行動予定を確認して下さい。

- 五月予定
  - 五日 総帆展帆・海洋講座
  - 二十七日 登しよう礼訓練
- 六月予定
  - 三日 総帆展帆・海洋講座
  - 三十日 新規ボランティア養成
- 七月予定
  - 一日 新規ボランティア養成
  - 八日 総帆展帆・海洋講座
  - 二十日 総帆展帆・フェスティバル
- 八月予定
  - 五日 総帆展帆・海洋講座
- 九月予定
  - 二日 総帆展帆・海洋講座
  - 十五日 新規ボランティア養成
  - 十六日 新規ボランティア養成
- 十月予定
  - 七日 総帆展帆・カッター訓練
  - 二十一日 総帆展帆・カッター訓練
- 十一月予定

- 四日 総帆展帆・海王丸ボランティア対抗カッターレース
- 五日 日頃 アンベンディングセイル (二日間作業予定)

## 十二月予定

- 一日 ボランティアの集い
- 二十二日 餅つき大会

## 平成十四年度一月予定

- 十三日 鏡開き大会

## 三月予定

- 上旬 ベンディングセイル (二日間作業予定)

## 平成十三年ボランティア研修について

オフシーズンにボランティア研修を三回ほど行う予定です。ボランティア研修の内容は、船内案内訓練、ヤード配置の登しよう礼訓練などを予定しています。その他カッターの漕走基本訓練なども考えております。詳しい日時は後日連絡します。事前に発行される「舵輪」の予定日・内容を確認して下さい。

## 六月行事予定

「総帆展帆」  
左記の日に総帆展帆を行います。

- 日付 六月三日 (展帆百回目)
- 七月八日
- 七月二十日

時間 受付 九時開始(研修室)  
打合わせ 十時開始(海王丸)

場所 日本海交流センター研修室前

7月分については、返信葉書で参加の是非をお願いします。

総帆展帆は通算百回目を越えます。皆様のご協力に感謝しています。今後七海

王丸活動にご協力をお願いします。見学者の方々にボランティアの意気込みを見せましょう。

注意・六月三日(雨天の場合次回)展帆参加者総員で展帆百回目の記念写真撮影します。

## 「登しよう礼」について

六月三日に行われる登しよう礼は左記のとおり行う予定です。六月三日総帆展帆参加者は確認して下さい。

登しよう礼開始時期・総帆展帆作業前

登しよう礼の対応

- ・登しよう礼登録者・・・訓練のとおり
- ・その他総帆展帆参加者

「登しよう礼用意」の号令で、各マスト指揮の指示に従い、三列横隊になる。(前列は登しよう礼参加者、後一列はその他総帆展帆参加者)

途中に号令、笛信号や「おめでと」等の動作が行われるが、この間は「気を付け」の状態のまま待機する。

「登しよう礼終わり、各マスト配置に着け」の号令で登しよう礼は終了、マスト指揮の指示に従い、総帆展帆の準備を行う。登しよう礼に要する時間は約十分程度。

展帆、畳帆作業終了後の登舷礼は通常どおり行う。

## 新ボランティア誕生

四月二十二日から新しく入りました三名のボランティアを紹介いたします。宜しくお願いします。

- (番号)
- 五一五 小竹 弘 さん
- 五一六 寺坪 孝志 さん

## 展帆データ

日時 名称 気象 参加人数 ヤード等 その他

四月二十二日 総帆展帆 晴れ 八十八名 スターボードタック・スクエア・ヤーズ

五月五日 総帆展帆 晴れ 八十八名 スターボードタック・スクエア・ヤーズ 通算九十九回目

## あとがき

草木が青々とする季節になりました。春の花々を見ながら、雲雀のさえずりを聞きながら、汗を流しつつ毎日自転車通勤を楽しんでいます。

当財団は本格的な活動時期に入りました。海洋教室は六、八月まで一杯の状態になりました。

総帆展帆もいよいよ通算百回目となります。海王丸ボランティアとして今まで振り返ってみると、数多くの出来事があったと思います。それぞれの思い出を振り返りながら、総帆展帆に参加してみたいかがでしょうか。今後とも海王丸ボランティア活動の御協力をお願いします。皆様くれぐれもお体には気をつけ、怪我、事故の無い作業を心掛けて下さい。

業務課 宝珠山

# 舵輪

海主丸乗組員体験記

「初めての遠航」  
業務技師 阿部 公雄

ボンプパイプ通信

ウエルトツキの用羅士

SPICING THE MAIN BRACE

離れ島訪問

航海中、離れ小島を見ると、降りて探検したくなる気分になります。普段、耳にする島でも実際はどんな所か、知らない方が多いと思います。このコーナー、そのような小さな島々へ誘います。小さな離れ小島への航海を楽しんで下さい。

第一回 南鳥島 (マークス)

第二回 沖の鳥島

第三回 与那国島

第四回 対馬

第五回 硫黄島

第六回 父島・母島 (小笠原諸島)

第七回 西ノ島・そうふ岩

第八回 鳥島・スミス岩

第九回 国後・択捉島

第十回 種子島・屋久島

第十一回 軍艦島 (端島)

K A I W O M A R U